

けんせつ の でんせつ

シリーズ 85



ダイダラボツチ

太古、日本列島にはダイダラボツチという巨人が住んでおり、山や湖を造ったという伝説が各地に残っています。富士山も彼の作品らしいので、おそろいまでの大男だったようです。

「富士山を造るために、土を取った跡

ダイダラボツチ(当館職員 上原由子画)

しかし、意外な
ことに東京の世田
谷区にあつた小さ
な橋を架けたとい
う話もあります。

代田橋の駅名など
がその名残ですが、
富士山に比べてず
いぶん小さな細工
に思えますね。手
先も器用だったの
でしょう。

『新修世田谷区

が甲府盆地となつた、あるいは琵琶湖、東京湾となつた」「大昔、ダイダラボツチが富士の山を背負おうとして、足を踏ん張った時の足跡が相模野にある大沼となつた。また、この原に植物の藤が無いのは、ダイダラボツチが背負縄にするつもりで藤ヅルを得られなかつた因縁で、今でも成長しない」

しかし、意外な
ことに東京の世田
谷区にあつた小さ
な橋を架けたとい
う話もあります。

代田橋の駅名など
がその名残ですが、
富士山に比べてず
いぶん小さな細工
に思えますね。手
先も器用だったの
でしょう。

『新修世田谷区

史 上巻は、江戸前期の仮名草子『紫の一本』にその伝説があることを示し、これによつて少なくとも17世紀にはこの話が存在していたことがわかります。

「大多橋は、四谷新町の先、篠塚の手

前にて大多ボツチが掛けたる橋也、大多とは大人にて百合若大臣といつた。大力

ありて強弓を引き、よく礫をうつ、世田

谷の代田には、ダイダラボツチの足跡とい
う大きな崖地があつた」

ここでいう「百合若大臣」とは、幸若

や説教節で語られた超人の英雄のこと

であり、蒙古軍を打ち破つたなどと語

られていました。

乙媛(おとひめ)

さて、ダイダラボツチは、むくつけき大

男といったところですが、女性も負けて

はいません。例えば、鹿児島県志布志市

の枇榔神社に祀られる乙媛です。由緒

によると、乙媛は天智天皇と里穎姫の間

に産まれたのですが、自分の子ではない

さて、ダイダラボツチは、むくつけき大

男といったところですが、女性も負けて